

IV部 気象及び発生源

IV部では、大気汚染濃度に影響を与えると考えられる気象要素及び発生源について報告する。

	項目名	記載概要
1	気象項目の状況	
1-1	風向風速	季節別及び年間最多風向・最多風向時平均風速分布図
1-2	全天日射量	月平均、月最高値
1-3	気温	年平均気温分布、年最高気温分布、月平均気温、年平均気温推移
1-4	降水量	年降水量分布、月平均降水量推移
1-5	大気安定度	月別出現時間数等
2	発生源の状況	
2-1	固定発生源	ばい煙発生施設、揮発性有機化合物(VOC)排出施設、一般粉じん発生施設、発生源監視体制の整備、硫黄酸化物・窒素酸化物排出量の推移
2-2	移動発生源	自動車保有台数、自動車排出ガス対策の推進

1 気象項目の状況

大気汚染物質の濃度に影響を与える気象項目として、風向風速、日射量、気温、降水量、大気安定度を選び、2022年度の概要を示した。

1-1 風向風速

千葉県内で風向風速を測定している94局(一般局)の測定結果に基づき、季節別及び年間の最多風向と最多風向時平均風速を図1-1-1～図1-1-5に示した。

なお、カームについては、県と同様に0.2m/s以下としている市と、0.4m/s以下としている市が混在しているため0.4m/sに統一し最多風向及び最多風向時平均風速を算出した。

4月～6月：野田地域は西、南南西の風が卓越し、平均風速は3m/s未満であった。東葛、葛南地域は南南東の風が卓越した地点が多く、平均風速は3m/s以上の地点が多かった。市原、君津地域は南東の風が卓越し、平均風速は4m/s以上の地点が多かった。千葉地域は主に南東で西の風が卓越した地点も混在している。北総、九十九里地域は北西の風が卓越した地点と南南東の風が卓越した地点が混在し、平均風速は3m/s以上の地点が多かった。長生・夷隅地域は東南東の風が卓越し、平均風速は3m/s未満であった。南房総地域は南東の風が卓越し、平均風速は3～4m/sであった。

7月～9月：野田地域は南西、西の風が卓越し、平均風速は3m/s未満であった。東葛、葛南地域は南南東の風が卓越した地点が多く、平均風速は3m/s以上の地点が多かった。千葉、市原地域は南南東の風が卓越し、平均風速は3～4m/sの地点が多く見られた。君津地域は南東の風が卓越し、平均風速は3m/s以上の地点が多かった。成田、印西地域は北西の風が卓越し、平均風速は4m/s未満であった。北総、九十九里、長生・夷隅地域では北西～北北西の風が卓越した地点と、南～南南西の風が卓越した地点が混在し、平均風速は4m/s未満の地点が多かった。南房総地域は西南西、南東の風が卓越し、平均風速は4m/s未満であった。

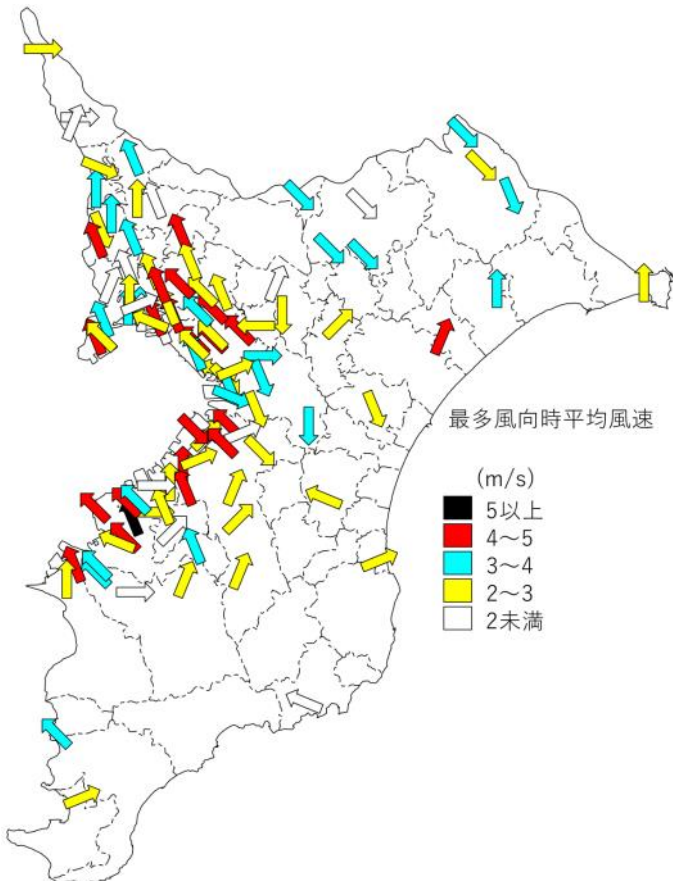


図1-1-1 4月～6月の最多風向と最多風向時平均風速

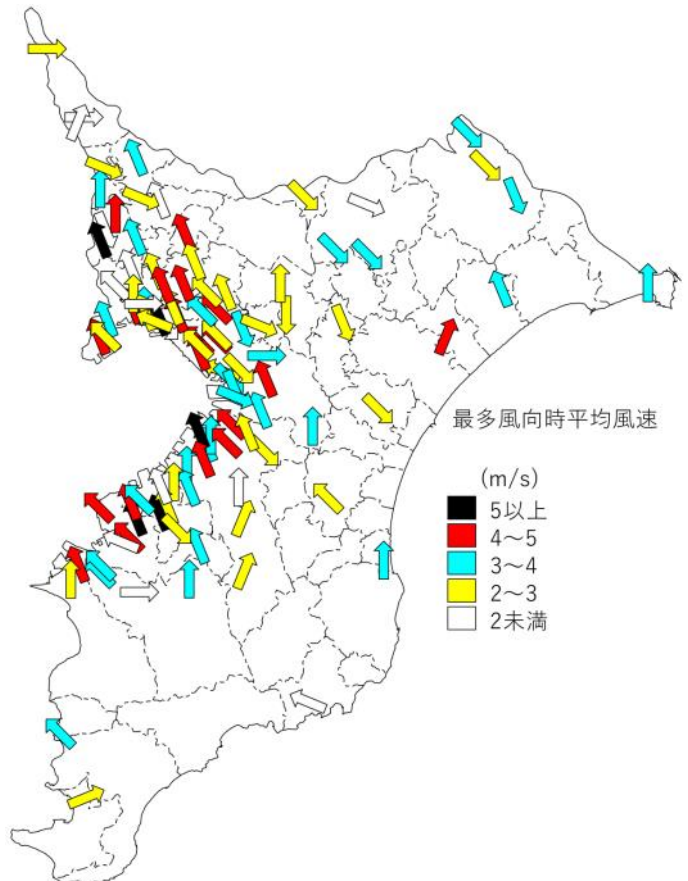


図1-1-2 7月～9月の最多風向と最多風向時平均風速

10月～12月：県全域で北東～北北東の風が卓越した地点が多かった。平均風速は3m/s未満の地点が多く、3m/s以上の地点は市原、君津地域の湾岸部に多く見られた。

1月～3月：県全域で北東～北北東の風が卓越した地点が多かった。平均風速は4m/s未満の地点が多く、4m/s以上の地点は市原、君津地域に多く見られた。

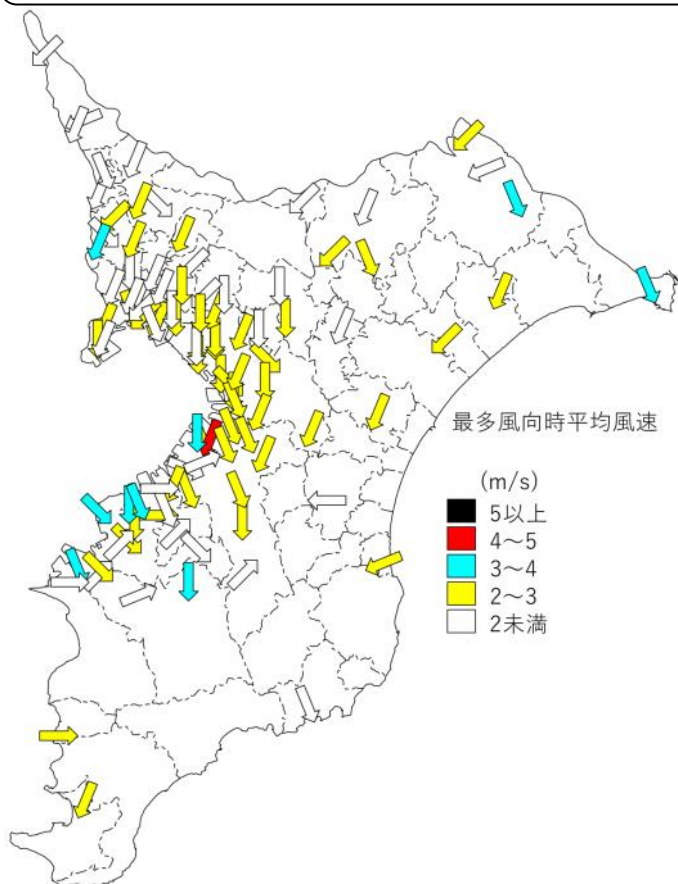


図1-1-3 10月～12月の最多風向と最多風向時平均風速

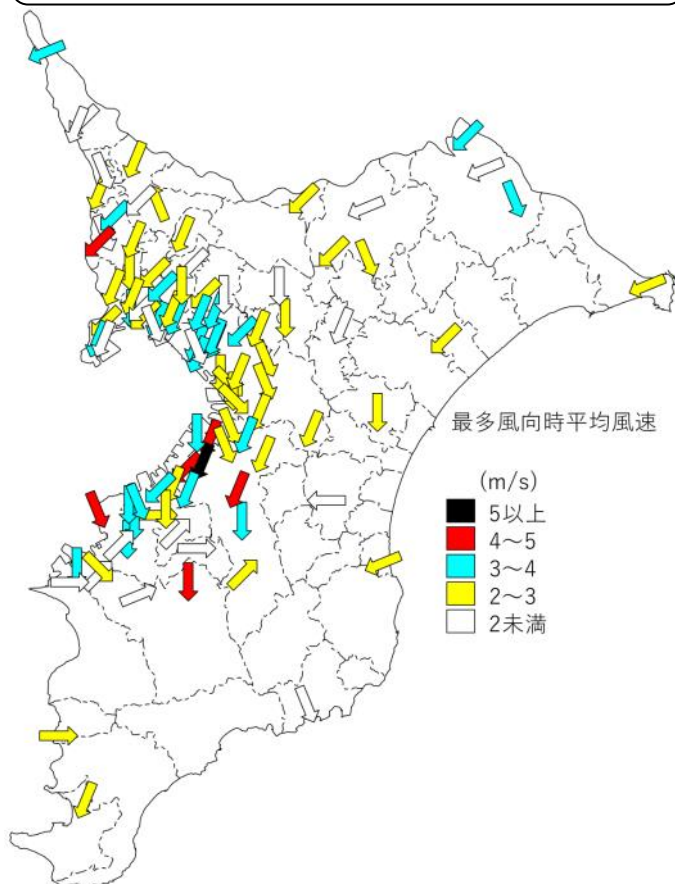


図1-1-4 1月～3月の最多風向と最多風向時平均風速

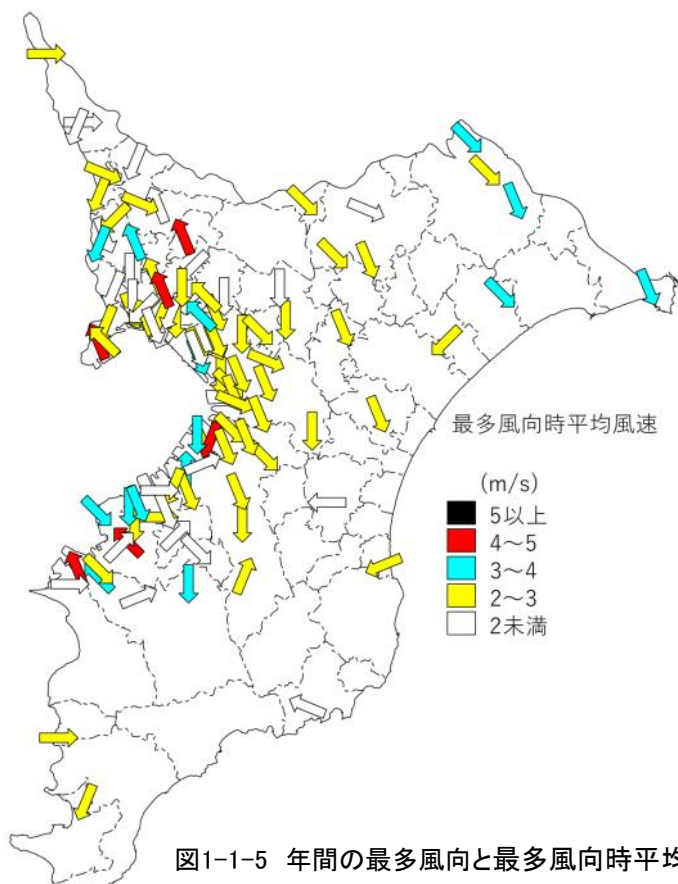


図1-1-5 年間の最多風向と最多風向時平均風速

年間：野田地域は西～北北東の風が卓越し、風速は3m/s未満であった。東葛、千葉、成田、印西、北総、九十九里地域では、北北西～北東の風が卓越した地点が多かった。平均風速は3m/s未満の地点が多かった。葛南地域は、西部では北北東の風が多く卓越し、東部では南南東の風が多く卓越した。平均風速は地点によるばらつきが大きかった。市原地域では北北西の風が卓越した地点が多く、平均風速も地点によるばらつきが大きかった。君津地域では、北～西の風が卓越した地点と南東～南西の風が卓越した地点に分かれた。平均風速は沿岸部で4m/s以上の地点が多かった。長生・夷隅地域では東～北東の風が卓越し、平均風速は3m/s未満であった。南房総地域は北北東の風が卓越した地点と、西の風が卓越した地点に分かれ、平均風速は2～3m/sであった。